

# A New Variety of *Lamium album* LINN

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-12-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24517/00056328">https://doi.org/10.24517/00056328</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



米澤信道\*：グンナイフウロの新白花品

Nobumichi YONEZAWA\* : A New White-Flowered Form of *Geranium eriostemon* FISCH. var. *reinii* (FRANCH. et SAVAT.) MAXIM.

北岳の高山帯下部のお花畑にて、グンナイフウロの白花品を見つけた(写真左)。付近に多産する淡紫色の花をつけるグンナイフウロ(写真右)とは、花色を除くと、形態的にも、また生態的にも差異は認められない。しかし未だ未発表のようであるから、ここに記録しておくことにする。

*Geranium eriostemon* FISCH. var. *reinii* (FRANCH. et SAVAT.) MAXIM. form. *albiflorum* YONEZAWA, form.



nov.

Flores albi.

**Nom. Jap.** Shirobana-gunnaifūro (nov.)

**Hab.** Mt. Kitadake, Ashiyasu-mura, Nakakoma-gun, Yamanashi Pref.

(N. YONEZAWA; Aug. 5, 1981; Holotypus in KANA no. 100739)

米澤信道\*：オドリコソウの一新変種

Nobumich YONEZAWA: A New Variety of *Lamium album* LINN.



\*成安女子高校(京都) Seian Girls' Senior High School  
〒602 京都市上京区相国寺北門前町

オドリコソウ *Lamium album* L. var. *barbatum* (SIEB. et ZUCC.) FR. et SAV. は日本など東アジアに産し、淡紅紫色または白色の花をつける。学名上母種の *L. album* L. var. *album* は、ヨーロッパ、北アフリカなどに産し、やや小さい白花をつける。

ところで、南アルプスの北岳には、黄花のオドリコソウが産する。3回の現地調査の他、京都大学(KYO)、鹿児島大学(KAGO)及び私蔵の腊葉標本等を検討した結果、新しい変種であるとの認識に達したので、ここに発表する。

この北岳産の生育地は、大樺沢の下部から上部にかけてであり(標高1,500-2,300m)、沢筋の草地や林縁などに群生する。付近には、オニシモツケ、ミソガワソウ、コウシンヤマハッカ、ホタルサイコ、ミヤマハナシノブ、センジュガンピ、ミツバベンケイソウ、グンナイフウロ、クルマユリ、クガイソウ、オクトリカブト、シナノキンバイ、レイジンソウ、カイタカラコウ、ヒナノウスツボ、ソバナ、クサボタン、イワオウギ、シロウマオウギ、イブキトラノオ、ミヤマオトコヨモギなどが見られる。花は、長さ3-4cmで、黄色。下唇の側片に線形の付属物がある。下唇の中央裂片基部付近に、目立たない黄褐色の斑点がある。草丈は、60-100cmあり、花をつける節の葉柄は2cm以下で、花の長さより短い。花期は7-8月で、高地のものほど遅く咲く。花時、地下茎の節から匍匐枝を出している。地下茎から出る根は、細長い。地下茎は開花結実後秋に枯れ、匍匐枝は冬を越し春以後地上に現われ成長する。

次に三者の主な差異について、表で示す。

最後に、本研究にあたって、御指導をいただいた金沢大学理学部の里見信生先生、富山大学理学部の鳴橋直弘先生および京都大学理学部の村田源先生に深く感謝致し

	<i>L. album</i> var. <i>album</i>	<i>L. album</i> var. <i>barbatum</i>	<i>L. album</i> var. <i>kitadakensis</i>
花 色	白 色	淡紅紫色または白色	黄 色
花の長さ	2-2.5 cm	2-4 cm	3-4 cm
花 期	V-VII ときに他の時期にも咲く	IV-VI ときに他の時期にも咲く	VII-VIII
花をつける節の葉柄の長さ	2cm以下	しばしば2cmを超える。	2cm以下
腊葉標本にしたときの変色	茎・葉柄・葉脈は黒化しない。	茎・葉柄・葉脈の一部がしばしば黒化する。	茎・葉柄・葉脈は黒化しない。
匍 匐 枝	花時すでにある。	花時には普通なく、秋以後出し、多くはすぐ地上に現われる。	花時すでにある。翌春以後地上に現われる。
地下茎から出る根	細長い	太く、しばしば紡錘状になる。	細長い
垂直分布	低地から亜高山帯まで	低地から低山帯まで	亜高山帯の下部から上部まで
地 理 的 分 布	ユーラシア(ヨーロッパからヒマラヤにかけて)、北アフリカ	東アジア(中国、朝鮮、サハリン、南千島、日本)	北岳特産

ます。

*Lamium album* LINN. var. *kitadakensis* YONEZAWA, var. nov.

Flores lutei.

Nom. Jap. Kitadake-odorikosō (nov.)

Hab. Mt. Kitadake, Ashiyasu-mura, Nakakoma-gun, Yamanashi Pref.

(N. YONEZAWA, Aug. 5, 1981-Holotypus in KANA no. 100741.)

The key characters distinguishing three different varieties of *Lamium album* are summarized and compared as follows:

#### Differences in gross morphology and ecology of three varieties of *Lamium album*

	var. <i>album</i>	var. <i>barbatum</i>	var. <i>kitadakensis</i>
Flower colour	white	pale reddish purple or white	yellow
Flower length	2-2.5cm	2-4cm	3-4cm
Flowering time	mainly from May to August	mainly from April to June	from July to August
Petiole length bearing flower	less than 2cm	often over 2cm	less than 2cm
colour of stem, petiole and vein in dry specimen	not blacken	sometimes partly blacken	not blacken
stolon	formed underground at anthesis	absent at anthesis ; appears above ground in fall	formed underground at anthesis ; appears above ground in following spring
Root system	slender	thick, sometimes fusiform	slender
Ecological distribution	lowlands to subalpine zone	lowlands to lower mountains	lower to upper subalpine zone
Geography	Eurasia (Europe to Himalaya and N. Africa)	E. Asia (China, Korea, Sakhalin, S. Kurile, the Japanese Islands)	endemic to Mt. Kitadake

(Received Sept. 25, 1981)